

第3回貴重資料紹介展の御案内

明治維新の舞台裏 ～高崎正風 関係書簡から～

幕末から維新へと激動の時代に翻弄されながらも、和歌の世界において、後世へとつなぐ確固たる足跡を残した薩摩藩士「高崎正風」を御紹介します。

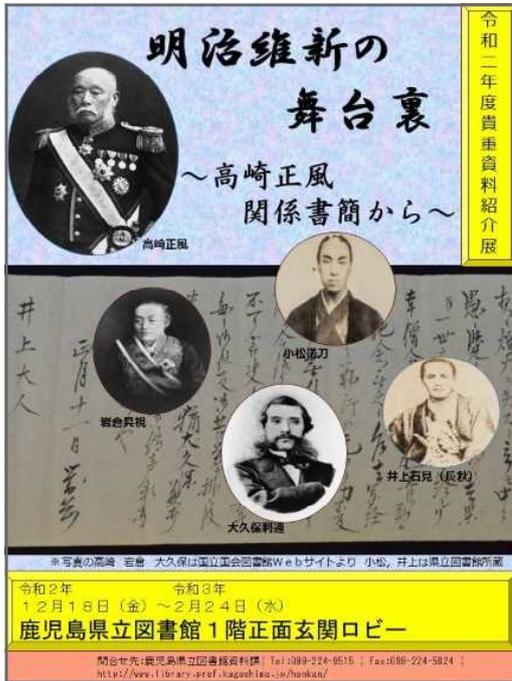
若くして苦難に遭いながらも、自分の信念を貫き、国事に奔走。維新後には宮内省に入省し、初代御歌所長として明治天皇をはじめとする皇族の和歌のお相手を務めました。

高崎正風の愛弟子である北里氏が高崎家から預かった史料等を、高崎家の希望もあって当館に寄贈して下さったものです。

今回は、初公開の書簡等7点を、黎明館の崎山学芸専門員に解説を加えていただき展示いたします。この機会に、ぜひ御覧いただき、幕末激動期の時代に思いを馳せてください。

期間：令和2年12月18日(金)～令和3年2月24日(水)

会場：県立図書館 1階正面玄関ロビー



図書館で探そう、調べよう!

「鬼火焚き」について調べたい



今年も、早いものであと半月。もうすぐお正月ですね。お正月と言えば、伝統的な行事も楽しみのひとつです。過去には、「鬼火焚き」という行事について、質問を受けたことがありました。

鬼火焚きとは、『鹿児島大百科事典』（南日本新聞社鹿児島大百科事典編纂室編）によると、「松や竹などの心柱を立て、その根に薪や家々から集めた門松や年木を積んで大火を焚く」行事です。鬼などを追い払うためとされています。さらに興味深いことに、鬼火焚きがみられる地域は、「南は硫黄島、屋久島まで」とのこと。

確かに、大島地域の民俗に関する資料を調査しても、鬼火焚きに類する行事は出てきません。その代わりに、「この日天から鬼が降りて来るとて空に向けて七発の空砲を鳴らす」（『復刻奄美生活誌』恵原義盛著）などの風習があるそうです。

この件に関して、町健次郎氏の講演記録「ケムンとは、なぜタコが嫌いなのか？-厄除けと妖怪の民俗学-」（『島の根 53号』鹿児島県立奄美図書館編）の中に「奄美には鬼火たきの習慣は入って来なかったけど、魔払いという考え方は入ってきていた」という記述があります。そのため奄美では、しめ縄や門松などの正月飾りを焼く習慣がありません。奄美の方々には正月飾りの処分に困ってしまうそうですよ。

同じ鹿児島県でも、お正月の風景が全然違うことに驚きますね。鹿児島県の広さを実感します。そんな広い県内にお住まいの皆様が、それぞれのお正月を心穏やかに迎えられるように。

新着図書案内

《一般図書》12月4日（金）

- 『頭のいい継続こそ力なり。』 塚本 亮/著 すばる舎
- 『文房具の整理術』 福島 榎子/著 玄光社
- 『SNSで人を集める!』 喜多野 修次/著 綜合法令出版
- 『テレビドラマオールタイムベスト100』 TVガイドアーカイブチーム/編 東京ニュース通信社
- 『「世界文学」はつくられる』 秋草 俊一郎/著 東京大学出版会

《児童図書》12月13日（日）

- 『きょうぼくはなまえをもらった』 かさい まり/文 星野 イクミ/絵 アリス館
- 『子どもの頭と心を育てる100のおはなし』 齋藤 孝/監修 宝島社
- 『おとうさんのかお』 岩瀬 成子/作 佼成出版社
- 『バウムクーヘンとヒロシマ』 巢山 ひろみ/著 くもん出版
- 『この海を越えれば、わたしは』 ローレン・ウォーク/作 さ・え・ら書房

催し物の御案内

「ミニ展示」コーナーをぜひ御覧ください！

一般閲覧室、児童文化室内にある「ミニ展示」。
当館職員が、テーマに関連するお薦め本をあらゆるジャンルから集めた、充実のコーナーです。
ぜひお立ち寄りいただき、御覧ください。



一般閲覧室ミニ展示

12/1～12/27 “ことば”のチカラ

言葉の力は無限大！

1/5～ 1/31 古典に出会う

古典にあなたの新しい発見を！

児童文化室ミニ展示

11/23～12/22 夜空を楽しもう

冬の星空観察のお供にこの一冊！

12/23～ 1/22 調べはじめは この本で！
読んで、ながめて楽しい図鑑
図鑑は立派な読み物です！

図書館職員のつぶやき

図書館には「相互貸借」というサービスがあります。自分の館に所蔵していない本を他の図書館から取り寄せるサービスです。また、他の館に当館の資料を貸し出すこともあります。県内はもちろん、全国各地の図書館と連携して行うサービスです。

この相互貸借、取寄せも貸出しも11月の依頼が例年の倍ほどに増えています。そこには少なからず、新型コロナウイルスの影響がありそうです。

県外への移動が困難だったり、大学図書館への学外者の立入りが制限されたりすることで、図書資料へのアクセスがいつもよりも難しくなっています。そこで、相互貸借サービスがいつも以上に活用されているようです。

先日、利用者の方から「今、県内のほとんどの大学図書館は立入りできない。県立図書館があつてよかった。」という声をいただき、図書館間の連携サービスの重要性をあらためて感じるこの頃です。

県立図書館に届いた「宝本」エピソード

今回紹介していただいた宝本は、サン＝テグジュペリ/作 内藤 濯/訳の『星の王子さま』(岩波書店)です。

昔、この本を買いましたが、読んでいませんでした。でも、中学生になって読んでみると、すごく不思議で、ひきつけられました。だから、いつも話の続きが気になっていました。何度も何度も読み返すけれど、いまだにどんな話なのかが分かりません。

そのくらい不思議な物語の『星の王子さま』は、私の大好きな、そしてみんなもひきつける本だと思います。

いつか分かるように、また読みたいと思います。こんなに飽きないこの物語は、私の宝本です。



図書館クイズ

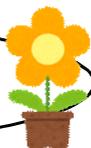
えほん『花さき山』 斎藤隆介/作
滝平二郎/絵 (岩崎書店) からのクイズです。

花さき山の花は、にんげんがどんなことをするとさくのかな？

- ①やさしいこと ②かなしいこと ③いじわるなこと

ヒント

されたら うれしいことだね



答え、自分の名前、利用者カード番号を書いて、児童文化室にある箱に、1月14日(木)までに入れてください。正解者のなかから抽選で20人にしおりなどのプレゼントを差し上げます。

前回の答えは「②ふうとう」でした。

たくさんのお応募ありがとうございました。

図書館カレンダー



| | 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|-----|----|----|----|-----|-----|----|-----|
| 12月 | 13 | 14 | 15 | 16★ | 17★ | 18 | 19◆ |
| | 20 | 21 | 22 | 23★ | 24 | 25 | 26 |
| | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 | 1 | 2 |
| 1月 | 3 | 4 | 5 | 6★ | 7 | 8 | 9 |
| | 10 | 11 | 12 | 13★ | 14 | 15 | 16◆ |

○ 開館時間 火曜日～土曜日：9時～21時
※ 児童文化室は19時まで
日曜日・祝日(白抜): 9時～17時

- は、休館日
- は、学習室と一般閲覧室の新聞・雑誌コーナーのみ開室 (12月29, 30日, 1月3日 9時～17時)
- ★ は、おはなしのじかん(毎週水曜日 15時30分～16時)
- ☆ は、ふゆいろのおはなしのじかん (12月17日 11時～11時30分)
- ◆ は、土曜版おはなしのじかん(第3土曜日 14時～)
- ◇ は、一般閲覧室新着図書の日(12月18日, 1月15日)
- は、児童文化室新着図書の日(12月13日)